

西中の風

継続と徹底

伊丹市立西中学校長

大西 規之

さあ、勉強！！

早いもので、長いと思っていた2学期も折り返し点を過ぎました。夏の暑さもどこかへ行き、勉強にスポーツに適した季節になりました。2学期の大きな行事、体育大会と文化祭も終わりました。全校生の頑張りで思い出深い見事な行事となりました。3年生は、先輩から受け継いだ伝統を行事を通じて後輩にバトンを渡してくれました。今度は、行事での頑張りを勉強に向け、後輩たちに勉強の頑張りを伝えてほしいものです。まだ、勉強に向かう姿勢ができてなかったり、思うように勉強がはかどらなかったりする人がいるかもしれません。18号と19号の2号にわたり、勉強について参考になりそうなことを掲載したいと思います。何か一つでも実践してもらい、今の勉強に対する悩みや不安が少なくなることを願っています。1、2年生ももちろん参考にしてください。何でも取り組みが早いことは有利になります。

- 1 誰でも「やる気」になれば成績は伸びる
 - ・「今すぐ成績を上げる」「次のテストで〇〇番になる」「志望校に合格する」「友だちにテストで負けない」などという強い気持ちを持つ。
 - ・やる気になる→勉強する→成績が伸びる→もっとやる気になる。
- 2 やればできる
 - ・「どうせ無理」「できるわけがない」と思うと、本当にできなくなる。
 - ・やれば絶対にできると思う。
- 3 まずは1回、テストでいい点を取る
 - ・いい点を取るために色々な方法で勉強をやってみる→やり方が分かると→勉強が楽しくなり成績が伸びる。成功体験で成績が伸びる。
 - ・一番好きな教科に全力を注いでみる。その教科の勉強にテスト勉強の時間全体の半分以上を割く。
 - ・1教科でも結果が出れば、自信がつき他の教科も頑張れ、成績が伸びる。
- 4 いい点を取るとうれしい
 - ・成績がいい人は「いい点を取ってうれしくなりたい(ほめてもらいたい)」とか「悪い点を取って悔しい思いをしたくない」という気持ちが強いから勉強を頑張っている。

- 5 塾に入れば成績が伸びるわけではない
 - ・塾に行っただけで勉強した気になり、成績が落ちてしまう残念なケースもある。
 - ・塾に行って、自分から勉強に向かう意志（わからないところはどんどん先生に質問する。人に言われなくても自分から勉強をする）のある人だけが成績が伸びる。
- 6 頑張るためには「目標」を決める
 - ・成績を伸ばすためには、次のテストの目標順位や目標点数を決める。
 - ・目標は少し難しめに設定する。設定した目標は、他の人に宣言する。
 - ・目標を決めてそれを達成するために勉強する。
- 7 予習→授業→復習を習慣化する
 - ・予習・・・授業の要点をざっくりつかみ、あまり時間をかけない。
少し予習をするだけでも、授業の理解度が格段にアップする。
 - ・授業・・・予習した内容を頭に入れながら、先生の話聞いて理解を深める。
 - ・復習・・・予習と授業で理解した内容を確認し、覚えている状態をキープする。問題を解けるかどうかチェックする。
- 8 授業を大切に
 - ・先生の方を見て、うなづきながら話を聞く、先生が出した問題の答えも予想しながら話を聞くなど、積極的に授業に参加する。
 - ・授業に集中せず、「後で勉強するからいいや」という考えは捨て、「この授業中に全てを理解するぞ」という意識を持つ。
 - ・毎回授業後にはわからなかったところを1つ以上先生に質問する。

(参考資料 「中学の勉強トリセツ」Gakken 梁川由香著)



日々ホームページを更新中！！

